講師のよこがお　～もっと伝えたい講座の魅力やプロフィールをインタビュー！～

『こども絵画と造形』
全日本児童美術協会会員　安原さとり　先生

想像の翼を広げよう！

柔らかな物腰と笑顔。安原先生の教室に流れる空気は、ふんわりと温かく感じられます。
　教室では絵だけでなく、時には工作も行います。
　何をするか課題は決めてありますが、お子様によってはどうしてもその課題をやりたくないこともあるそうです。そんな時は子供と同じ目線で、何を思い考えているかをじっくり聞いて、そのお子様に合わせた別の課題に変えることもあります。

ご両親共に絵画作家・絵画教室講師という環境の中、自然と美術の道へ進まれた安原先生。成長するにつれ「美術を通して子供たちに何かを伝えたい」そんな気持ちが夢になり、人生の目標にもなっていったそうです。

「私ができることって何だろう・・・・・・」常々考え迷い、たどり着いた結論は「思い続けることで願いはきっと叶う」という言葉。

思い続け、頑張ったことはすぐに形にならなくても年月を経て叶う。そういう気持ちで自分なりの美術を伝えて行こう・・・・・・。
　今ではそれが先生の座右の銘となっています。

「子供の描く1本の線には、時に言葉より多くが語られていることがあります。絵を描くことは線、形、色を通して心の動きを表現することでもあります。
　絵を描きながら『ものをみること』を学び、楽しみながら、想像力をいっぱい使えば、1+1=2だけでなく、たくさんの、自分なりの答えがあることをきっとみつけられます」。

安原先生と一緒に想像の翼をいっぱいに広げて、普段見慣れているものにも、新しい世界を見つけてみませんか。

2019年8月